

## 【作業療法士】

### ◎主な配属先、業務内容

#### ■出先機関

#### 県立病院



- 急性期から回復期にある入院患者さんを対象に、脳血管、運動器、呼吸器、廃用症候群の疾患別のリハビリテーションなどを実施

#### こども療育センター

- 子どもの成長に合わせて、あそび、日常生活活動(ADL)、学習活動、職業関連活動などの観点から支援



## 【作業療法士】平成30年度採用



県立病院

中屋 朱音

(金沢大学 医薬保健学域保健学類 卒業)



### 【主な担当業務】

- ・患者さん一人ひとりの身体機能や高次脳機能、認知機能、日常生活動作の評価
- ・早期から身体や高次脳機能の改善を促し、李勝・基本動作・日常生活動作などの作業療法を実施

### ◎ある一日のスケジュール

8:30 業務開始、 カルテチェック、朝会	8:45 リハビリ業務開始、 リハビリ室での作業 療法	12:00 昼休み	13:00 リハビリ業務再開、 病棟での作業療法・ カンファレンス	16:00 カルテ記載、書類作成	17:15 業務終了
-----------------------------	--------------------------------------	--------------	--	---------------------	---------------

### ◎福井県職員を志望した理由

暮らし慣れた地元の福井県で医療に携わりたいという考えがありました。また、以前、祖父母が病気で入院してお世話になったため、恩返しをしたいという気持ちも強くあり、福井県立病院での就職を希望しました。

### ◎仕事をはじめて感じていること、魅力、やりがい

私は、現在、急性期分野の作業療法士として福井県立病院で働いています。急性期分野の作業療法士の仕事はベッドサイドから始まりますが、患者さんの容態は日々変化しやすく、高度なリスクも伴います。そのため、**医師、看護師やご家族との情報交換を欠かさず、全身状態のリスク管理をする必要があります。**大変なこともありますが、**患者さんができなかったことができるようになった場面に立ち会える機会が多く、ご家族やご本人が喜んでくださる顔を見ると、とてもやりがいを感じます。**

### ◎採用試験対策

一次試験は教養試験、専門試験ともに幅広い分野からの出題でした。私は大学の実習と並行して採用試験があったので、隙間時間を見つけて、短期間で集中して試験対策をしていました。**専門試験は作業療法士国家試験の過去問を繰り返し解き、教養試験は参考書を購入して勉強しました。**

二次試験の面接対策としては、**履歴書をしっかりと書いて、それをもとに質問内容を予想立て、自分の考えを答えられるようにしていました。**面接本番は緊張してしまうかもしれませんが、**焦らずに自分の思いを真摯に伝えられると良いと思います。**

### ◎後輩たちへ一言

福井県で唯一の自治体立病院、高度急性期病院であり、様々な知識と経験が積めることが大きな魅力だと思います。経験豊富な先輩方から、様々な意見をいただいて日々精進しています。また、**福利厚生や休暇などの環境にも恵まれているため、とても働きやすい職場だ**と思います。